

新日本試験室が優勝

総重量17準優勝は国分中央クラブ

本社主催の第34回鯛釣り大会が6日、鹿児島市平川沖の錦江湾を舞台に繰り広げられ、15チーム約60人が参加し腕を競った。

結果、総重量17準優勝は国分中央クラブ、3位は松園工務店が輝き、大物賞は準優勝チームの福永正文さん、外道大物賞はA・Fの室屋晴久さんが勝ち取った。



2度目の優勝を飾った新日本試験室チーム

当日は、早朝から、自慢の釣りざおを片手に意気揚々と集合。出航前の開会式では、前回優勝した錦江建設チーム(代理)から優勝旗が返還され、午前7時、一斉に錦江湾に向けて出航した。

絶好の秋晴れの中、海上で約8時間にわたり奮闘。午後3時には全船が帰港し、釣果を計量した結果、新日本試験室チー



大物賞の福永さん

外道大物賞の室屋さん



ムが他を寄せ付けけない1万7286gを釣り上げた。優勝。河越重喜社長は「4、5年前、優勝した際の釣果(鯛)は5kg前後。今回は約3倍近い100匹近くを釣り上げた。潮も良かったが、何と言

た。2度目の優勝を喜んで、準優勝の国分中央クラブも「最後まで諦めず、チームワークを持って釣り続けたことが結果につながりました」と笑顔で話した。3位の松園工務店も「入れ食いでした。次々と鰯や鯛がグアールで食い付き、ほんと飲まず食わずで釣り上げました」とうれしそうに語った。

また、大物賞(684g)を獲得した釣歴2年の福永さんは「錦江湾のベテラン、吉村さんと船頭さんのアドバイスのおかげです」と喜びを語り、外道大物賞(1348g)の釣歴6年の室屋さんも「船頭さんとメンバーに助けられました。カンパ

に満足しています」とうれしそうだった。午後3時過ぎに行われた閉会式では、大迫純隆鹿児島建設新聞社長が挨拶。「今回は1カ月早めの開催でしたが、天気も潮加減も良く、絶好のコンディションの中、心行くまで楽しみ、日頃の疲れをいやして頂けたかと思えます。今年も残りわずかですが、皆様の

団体成績は次の通り。優勝 新日本試験室 準優勝 国分中央クラブ 3位 松園工務店 4位 大桶クラブ 5位 神野自動車 6位 橋口組 7位 興建設センター 8位 エポック・プラン 9位 栄光電設

購読料のお支払い 王様印刷



松元 泰則



50歳を前にして

49歳の誕生日を迎えたある日、いままでにない感慨深い何とも言えない思いがよぎった。あと1年で50の台にのると思うとともに、残りのくらしい生きられるのかと考えてしまった。

数カ月前に読んだ新聞に人間の平均寿命が書いてあったが、確か私の歳で健康であれば後28年と記されているのを思い出した。あとわずか28年しかないのかという気持ちが強くなったと記憶している。28年を考えると成人式を迎えてから現在まで

の年数であり、短いような長いような例えようもない貴重な年月だと考えざるを得ない。ここ何年か前から徐々にではあるが、体力の衰えを感じるようになってきた。帰宅して風呂に入るときでも、ウーとか声を出して入り、動作も鈍くなり、

そして頭は先のことを考えているのに体がついてこないという具合である。先日、ある会を終え

てよい、気も見た目も自分では若いと思っているがね。そんな若い女の子に何歳かと言われたのよ、悪きわ

た。50歳を前にして、私49歳になり、その時の先輩の気持ちが少し分らないでもない気がした。歳はともないうちが若いときおじさんというイメージが強いがね、じゃってやろね」としみじみ言われ、最後の「もてよう」という気じゃなかったたっど」の一言が印象的であった。

私も49歳になり、その時の先輩の気持ちが少し分らないでもない気がした。歳はともないうちが若いときおじさんというイメージが強いがね、じゃってやろね」としみじみ言われ、最後の「もてよう」という気じゃなかったたっど」の一言が印象的であった。

後には禿げ防止のシャンプーをプレゼントされた。今はせっせとそのシャンプーで髪を洗い、いつまでも飲みに行けるように最後の抵抗をしている今日この頃である。

(株)豊正技建コンサル タント社長

林材業の窮状を説明する陳情団

林材業界8団体が県に陳情 木材需要の拡大訴え



林材業の窮状を説明する陳情団 鹿児島市の県庁知事室で

来軸組工法木造住宅建設推進、公共施設の木造化など木材需要の拡大を訴えた。

陳情団は横小路会長ら13人で構成。県側は須賀知事、直江延明土木部長、中村治人林務水産部長、

20、21日に指宿市で

サンライズ機工「見」に機展

指宿市の建機販売・リース業の(有)サンライズ機工(前原嘉孝社長)は20、21日の両日、同市西方の同社特設会場で建機、保

安用品、農機の展示即売会「見」に機展」を開催する。前原社長は「かねて指宿市を主に営業しているが、今回は鹿児島市

協田松枝 知事室で 林材協会 が木材産 材値低迷 上で、要 県産材需 来軸組工 設推進の の木造化、 ②公共工 用の需要 法の施行 陳情を 事は「一 推進会議 施設や備 議してい いても公 上で常に に置くよ を促した。